

◆企画名	縫わずに作れる！ブックカバー・ワークショップ～Welcome to KANDAI～
日程	2023年4月13日（木）10：40～12：10
場所	千里山キャンパス凜風館1階ピアエリア
参加者数	5名（ピア・サポータ1名、研修生2名、一般学生2名）

目 的

ブックカバー作りを通して本への親しみを深め、読書活動を推進する。また、参加者に KU コアラの活動を周知し、新入生を募集することを目的とする。

内 容

- ・自己紹介
- ・KU コアラの紹介
- ・ブックカバー作り
レジュメ・動画を参考にしながら、参加者の希望に応じて
単行本サイズまたは文庫本サイズのブックカバーを作成。
材料は参加者が持参した布もしくは KU コアラが用意した
布を使用する。
- ・参加者アンケート



効 果

- ・読書活動の推進に繋がったか。
このワークショップを通して、参加者の読書意欲を高めることができた。ブックカバーの完成後には、見本として置いていた本に実際に作成したカバーをかけたり、どのような本を入れたいかという話題で盛り上がったりする様子もあった。このようなことから、今回のワークショップでは参加者の読書意欲向上へのサポートをすることができたといえる。
- ・参加者に KU コアラの活動を周知できたか。
アンケートでは、KU コアラの存在を知っている人が半数という結果だったが、司会進行の中で改めて活動について説明することで、参加者により具体的な活動内容について知ってもらうことができた。さらに、参加者の中からガイダンスへの応募があり、KU コアラへの加入に繋がったことから今回のワークショップで KU コアラの活動については十分に周知できたといえる。また、KU コアラに3年次生でも入ることができるかという質問があり、イベントを通して KU コアラに興味を持ってもらうことができた。
- ・その他（広報の効果など）
アンケートから、参加者全員が図書館のポスターを見て参加したとのことで、SNS やインフォメーションシステム「お知らせ」といった文章での広報よりもポスターの方が見てもらえるということがわかった。

改 善 点

全4回の実施を予定していたが、そのうち3回は参加者0名のため実施できなかった。実施した回についても、申込者は3名と少なく、そのうち1名は連絡なく欠席したため2名のみの参加となった。参加者数の増加のためのプロモーションとサイレント欠席への対応に課題があると考ええる。ブックカバーの作成中、KU コアラメンバーから積極的に声を掛けたり手伝ったりすることができたが、手持ち無沙汰になっているメンバーもいたため、ワークショップ中の KU コアラメンバーの動きについて、事前にもう少し打ち合わせをしておく必要があった。

感 想

- ・これまでの経験の蓄積からスムーズに作業の誘導ができた。
- ・笑顔で会話することができたので、打ち解けた空気になり、終始和やかに開催できた。
- ・見本用のブックカバーを持参したことにより、参加者が触れたり構造を確認したりしていたので、かなり参考になっていたのではないと思う。また、完成後は見本に入っていた本を入れて大きさや出来を確かめていたのでその点も良かった。